

チャレンジデー

住民総参加型スポーツイベント

チャレンジデー2016 実施の手引き



笹川スポーツ財団
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

チャレンジデーの流れ(スケジュール)

主なスケジュール		内 容
3月上旬	対戦組合せ発表	助成金上限金額の通知
3月中旬 ～下旬	助成金の申請	所定の「助成金申請書」を提出
4月	助成金額の決定 助成事業契約の締結	「助成金決定通知書」受理 「請書」の提出 ※請書は、助成金決定通知書に同封
5月中旬	助成金の支払い	振込確認後、所定の「領収書」を提出 ※領収書は、助成金決定通知書に同封
5月25日(水) チャレンジデー2016 開催		
6月下旬	チャレンジデーレポート 報告書の提出	所定の「レポート用報告書」を提出
8月末～ 9月 (予定)	セミナー・メダル認定証 授与式等の開催	スポーツとまちづくりに関するセミナー・メダル認定証授与式
9月末 (予定)	事業完了報告書の提出	所定の「事業完了報告書」を提出
10月～	事業の完了 (確定通知書の受理)	「確定通知書」の受理 ※助成金の返還がある場合は、期限内に返還(振込)
終了		

※ 各提出書類の様式は全て笹川スポーツ財団のホームページからダウンロードができます。

<http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/index.html>

※ 事務連絡(詳細)については、随時、メールによる「チャレンジデーニュース」でお知らせします。



目 次

1. チャレンジデーの概要	 P.3
2. チャレンジデー当日集計報告について	 P.4
3. 対戦自治体との交流	 P.5
4. 助成金の申請	 P.6
1) 申請団体	 P.6
2) 申請方法	 P.6
3) 申請書の提出期間・方法	 P.7
4) 申請書の内容確認(助成金額の決定)	 P.7
5) 助成金のお支払い(助成金振込)	 P.7
6) 金額の算出方法	
5. 全国共通イベントの実施について	 P.9
6. チャレンジデーレポートの製作について	 P.10
7. チャレンジデー実施自治体へのサポート	 P.10
8. チャレンジデーアワードについて	 P.11
9. 事業完了報告書の提出	 P.13
1) 事業完了報告書の提出期間・方法	 P.13
2) 助成金額の確定方法	 P.13
10. チャレンジデーQ&A	 P.14



1. チャレンジデーの概要

1) 概要

日 時

2016 年 5 月 25 日 水曜日 午前 0 時～午後 9 時

実施内容

・規定時間内に 15 分以上継続して運動・スポーツに参加した人数
(参加率(%))を競います。

・人口規模により分けられたカテゴリー内で対戦自治体を笹川スポーツ財団(以下
SSF)が抽選にて決定。
カテゴリーは以下の表をご参照ください。

$$\text{参加率(\%)} = \frac{\text{総参加者数(人)}}{\text{実施自治体の総人口(人)}} \times 100$$

カテゴリー	人口規模
1	4,999 人以下
2	5,000 人～9,999 人
3	10,000 人～29,999 人
4	30,000 人～69,999 人
5	70,000 人～249,999 人
6	250,000 人以上

人 口

2016 年 2 月 1 日付の人口を使用します。

・人口は、上記日付の「住民基本台帳登録者数」(外国人登録者含む)となります。

参加対象

規定時間内にチャレンジデーを実施する当該自治体区域内にいる全ての人が参加可能。

年齢・性別による除外規定は設けないこと。

・住民以外にその地域で働く人、通学・通園する人、観光客等も参加の対象になります。
(人口が少ない自治体などでは参加率が 100%を超える場合もあります。)

実施場所

実施自治体内であれば、自宅や学校、職場、スポーツ施設、広場など、どこでも実施可能です。

実施時間

午前 0 時から午後 9 時までの間であればいつでも実施可能です。

実施種目

実施種目に制約はありません。

運動・スポーツであれば、どのような種目でもかまいません。

・多くの人が楽しんで参加できるような、ユニークで特徴的なプログラムや、イベントを企画・実施することで参加率も上がります
(地元発祥のスポーツ、郷土の踊り・ダンスなど)

2. チャレンジデー当日集計報告について

参加報告 チャレンジデーに参加したことを集計センターに報告

- 《報告方法》
- ・15 分以上運動・スポーツをした人は、集計センターに参加したことを報告
基本的には参加者本人による自己申告です。
 - ・電話、FAX、電子メール、QR コードなどで集計センターに報告
 - ・スポーツ施設や公民館などに集計 BOX を数ヵ所設置し、報告用紙を投函
 - ・グループ単位での参加は、代表者が集計センターに報告 など

参加報告の締切 午後 9 時 30 分

《注意事項》 **ダブルカウントの禁止**

- ・チャレンジデーは午後 9 時に終了しますが、住民からの参加報告の締切りは、午後 9 時 30 分までとします。これ以降の参加報告は無効となります。
- ・公正な参加率を算出するため、参加報告は「**1 人 1 回(票)**」としてください。
※上記2点について、あらかじめ住民や関係者、実行委員等にご周知願います。

報告時間 参加者数を以下の時間に SSF に報告してください。
全自治体の参加率を SSF が取りまとめ、ホームページや報道機関に公表いたします。

〔第 1 回報告締切〕 午後 1 時 → 〔SSF からの公表〕 午後 1 時 30 分(予定)
〔第 2 回報告締切〕 午後 5 時 → 〔SSF からの公表〕 午後 5 時 30 分(予定)
〔 最終報告締切 〕 午後 10 時 → 〔SSF からの公表〕 午後 11 時 (予定)

1自治体でも報告が遅れると公表できません。時間厳守をお願いいたします。

報告方法 当日の参加者数、参加率の報告は、集計報告専用 web サイトにて行っています。
※事前に操作テストを行います。操作方法やテスト日程などの詳細は、後日、改めてご案内いたします。

結果発表 チャレンジデー当日の午後 11 時頃に SSF のホームページで公式発表いたします。
全国の報道機関には、FAX 一斉送信でお知らせします。



3. 対戦自治体との交流

4月～5月(チャレンジデー当日まで)

エール交換

お互いの健闘を祈って対戦相手と実行委員会の代表(市町村長)によるエール交換を行ってください。



直接市長同士が会ってエール交換
チャレンジデー2015 (大仙市・座間市)



インターネット電話サービスを使用してエール交換
チャレンジデー2015 (昭島市・豊岡市)

チャレンジデー翌日から1週間

自治体旗の掲揚

対戦に敗れた自治体は相手の健闘を称え、庁舎に対戦相手の自治体旗を掲揚していただきます。



4. 助成金の申請

1) 申請団体

チャレンジデー2016の実施に伴う助成金の申請は、チャレンジデー実施のために組織した実行委員会からご申請願います。助成金のお支払いにより、チャレンジデー事業は、笹川スポーツ財団の助成事業として実施していただきます。

※チャレンジデーは自治体での実施がルールです。しかし、実際の開催には自治体の代表である市町村長を中心に、行政と体育協会やレクリエーション協会、スポーツ推進委員等、民間団体との相互協力なしでは実施不可能であるため、市町村長を代表者(会長・委員長)とした実行委員会を組織していただくことを原則としております。

2) 申請方法

書類の作成手順

申請書類については、笹川スポーツ財団ホームページよりダウンロードしてください。

- ・申請書に添付してある「助成金経費一覧」、「記入例」をご確認のうえ作成してください。

- ・原則、word(ワード)で作成してください。

- ・申請書表紙の実施団体名および代表者名には、団体印もしくは代表者印を押印してください。(押印はどちらか1つでも問題ありません)
なお、実施団体名と異なる名称での申請は無効です。

※実施団体名は、「市町村名＋チャレンジデー実行委員会」となります。

(例) 可:〇〇市チャレンジデー実行委員会

不可:□□市教育委員会、◇◇総合型地域スポーツクラブ

- ・書類不備の場合は申請書を受理できませんので、ご注意ください。

添付書類

助成金申請書に以下の書類を添付し、ご提出ください。

- ・実行委員会の規約・会則、組織図

- ・助成金振込口座の通帳のコピー

初実施自治体または振込先口座の変更があった自治体対象

(金融機関名の変更も含む)

助成金限度額

本助成金は、チャレンジデー2016の実施に伴う経費の全額を助成するのではなく、助成対象経費の一部を助成するものです。助成金は、人口規模に応じた助成金限度額を設け、それを超えることなく、且つ、補助率(80%)の範囲内となります。助成金限度額については **6)金額の算出方法**をご参照ください。



3) 申請書の提出期間・方法

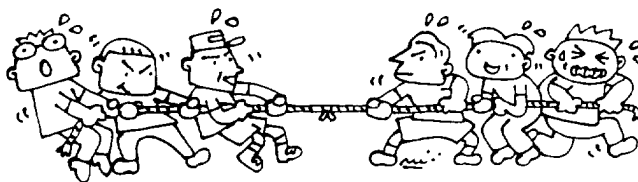
受付期間	2016年3月11日(金)～2016年3月31日(木) ※消印有効
提出方法	郵送(必要書類一式)
提出先・問合せ	笹川スポーツ財団 研究調査グループ チャレンジデー担当 〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11階 TEL:03-5545-3303 FAX:03-5545-3305 E-mail:cday@ssf.or.jp

4) 申請書の内容確認・助成金額の決定

内容確認	申請書受理後、笹川スポーツ財団にて申請内容を精査・確認し、助成金額を決定いたします。 ※精査・確認の結果、助成金額が申請金額通りとならない場合もございます。
助成金額の決定	助成金額は、4月下旬に「助成金決定通知書」により、ご通知いたします。 同通知書に「請書」を同封いたします。請書に必要事項をご記入のうえ、笹川スポーツ財団にご返送(提出)下さい。 ご提出頂いた時点より、助成事業の契約が締結されたこととなり、その後「助成金の振込手続き」となります。

5) 助成金のお支払い(助成金の振込)

助成金の振込	上記4)により、助成金の振込手続きとなります。 振込日:5月中旬(予定) 振込確認後、所定の「領収書」をご提出ください。
--------	--



6) 金額の算出方法

金額の算出方法 助成金の申請に関する計算については、以下をご参照ください。
 $(\text{助成金対象経費}) \times 80\% (\text{補助率}) = (\text{助成金申請額})$

例 1 カテゴリー2 のA町が、助成対象経費の予算を 300,000 円として助成金を申請

$$300,000 \text{ 円 (助成対象経費)} \times 80\% (\text{補助率}) = 240,000 \text{ 円}$$

この場合、カテゴリー2の助成金限度額(280,000 円)ではなく

助成金申請額は 240,000 円となります。

例 2 カテゴリー2 のB町が、助成対象経費の予算を 400,000 円として助成金を申請

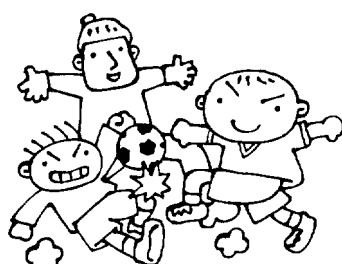
$$400,000 \text{ 円 (助成対象経費)} \times 80\% (\text{補助率}) = 320,000 \text{ 円}$$

この場合カテゴリー2 の助成金限度額は 280,000 円なので、320,000 円ではなく

助成金申請額は 280,000 円となります。

※助成対象額に補助率を乗じた場合で、助成金限度額を超える場合は、その限度額が助成金の申請金額となります。

カテゴリー	助成金限度額	補助率
1	200,000	80%
2	280,000	
3	400,000	
4	460,000	
5	620,000	
6	900,000	



5. 全国共通イベントの実施について

SSF ではチャレンジデーに取り組む各自治体が、共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施しております。これらを実施することで、チャレンジデー参加者相互の交流を広げ、参加の増大を期待できます。

種 目 以下の4種目を実施いたします。

- ・ロープ・ジャンプ・X
- ・ロープ・ジャンプ・EX
- ・スポーツごみ拾い
- ・空き缶積み上げ

各種目のルール等については、笹川スポーツ財団ホームページをご覧ください。
<http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/about/event1.html>

実施申込 自治体の参加種目・参加チーム数に制限はありません。
申込締切:4月下旬
詳細はメールニュースでご案内いたします。

結果報告 自治体ごとに参加チームの記録を取りまとめ、各種目の「記録報告用紙」をご提出ください。
提出期限:6月3日(金)
各種目の記録報告用紙については、笹川スポーツ財団ホームページよりダウンロードしてください。
詳細はメールニュースでご案内いたします。

結果発表 笹川スポーツ財団ホームページにて掲載いたします。
チャレンジデー実施後のセミナー・メダル認定証授与式(8月～9月を予定)にて、全国1～3位を表彰します。



ロープ・ジャンプ・X



ロープ・ジャンプ・EX



スポーツごみ拾い



空き缶積み上げ

6. チャレンジデーレポートの製作について

SSF ではチャレンジデー開催後に実施自治体のご協力により、レポートを製作しております。

1) レポート用報告書の提出期間・提出物

受付期間・提出方法

後日、改めてご案内いたします。

提出物

写真

なるべくチャレンジデーのポスターや横断幕などが写るように撮影してください。



- ・アスリート、ゆるキャラなどの写真
- ・各プログラムの写真

チラシ

広報用のチラシをお送りください。

レポート用報告書の様式、作成方法等につきましては、改めてご案内します。

7. チャレンジデー実施自治体へのサポート

チャレンジデーの周知を目的にポスターとTシャツのご提供を予定しております。

1) ポスターの配布について

サイズ

B2 判サイズ 4 色カラー

配布数

配布数は、例年同様カテゴリー別に設定いたします。
今年は、以下を予定しております。

カテゴリー	配布枚数
1	100
2	150
3	200
4	250
5	300
6	350

2) Tシャツのご提供について

サイズ

S、M、L、XL

配布数

配布数は、カテゴリー別に設定いたします。
今年は、以下を予定しております。

カテゴリー	配布枚数
1～3	40
4・5	50
6	70



ポスター、Tシャツの配布枚数と時期は後日、メールニュースであらためてご案内いたします。

8. チャレンジデーアワードについて

チャレンジデーに取り組む各自治体に対してアワード(賞)を設定し、受賞した自治体には後日、記念の楯を授与しています。アワードには以下の種類があります。

- ・ チャレンジデー大賞 最も参加率の高かった自治体に贈られる賞
- ・ 新人賞 最も参加率の高かった初実施の自治体に贈られる賞
- ・ 新人賞 最も参加率の高かった初実施の自治体に贈られる賞
- ・ 参加率アップ賞 昨年と比較して、最も参加率の上がった自治体に贈られる賞
- ・ カテゴリー優秀賞 同カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体に贈られる賞
- ・ ベストPR賞 最も多く新聞や雑誌・テレビ・ラジオ等に取り上げられた自治体に贈られる賞
- ・ 広報アイデア賞 チャレンジデーを広く周知するために、ユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞

PR賞について (全実施自治体対象)

報道機関に取り上げられた**新聞記事(PDFファイル等)**、ラジオ・テレビなどの映像・音声データ(DVD)等を6月3日(金)までにご提出いただきます。

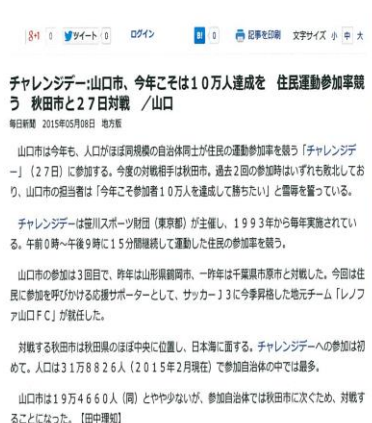
詳細はメールニュースで改めてご案内いたします。

例

1.



2.



3.



	日付	媒体	紙名・局名等	露出部分
1	2015.05.28	新聞	秋田さきがけ	朝刊
2	2015.05.11	Web ニュース	毎日新聞 山口 Web 版	
3	2015.05.27	テレビ	NHK	首都圏ネットワーク

提出時に日付、媒体、紙名・局名等と露出部分についてご回答いただきます。

広報アイデア賞について （任意報告）

チャレンジデー広報活動について、ユニークで独創的なものを6月3日(金)までにご報告いただきます。

詳細はメールニュースで改めてご案内いたします。

例

1.



2.



3.



1	オリジナル映像を作成して PR を図るとともに、DVD を市内の保育園・幼稚園、小中高校に配布し、放課後や休み時間、ホームルームで放映することで全ての園児、小中高生の参加に繋がり参加率が向上しました。 また、小中学生の手書きによる応援メッセージの入ったポスターを掲示し、市民への参加を呼びかけるなど広くチャレンジデーを周知しました。
2	チャレンジデー応援サポーターに、地元のサッカークラブ「レノファ山口」に就任していただき、チラシ、横断幕、PR 映像等で協力してもらいました。 PR 映像は、市役所ロビー、市内スポーツ施設、大型スーパー、大学等で常時放映したほか、テレビ放送、レノファ山口のホームゲーム戦にて、ゲーム前とハーフタイムに放映しました。
3	地元作業所とタイアップし、豊岡市独自のチャレンジデーPR グッズを作成。 豊岡市の市鳥のコウノトリを形取った可愛いミニカステラをチャレンジデーバージョンとして作成、市内の事務所、各団体等に配布しPRを行いました。



9. 事業完了報告書の提出

1) 事業完了報告書の提出期間・方法

受付期間 後日、改めてご案内いたします。
提出方法 郵送（必要書類一式）

報告書には、SSF が定める助成対象経費に該当する使用経費の全てに支払証憑（領収書のコピー内訳が記載されているもの。記載されていない場合は請求書、納品書など内訳が記載されている書類）が必要となります。無いものは助成の対象外となりますので、十分にご注意いただき、準備と対応をお願いいたします。

なお、支払証憑（領収書のコピー）の宛名は、申請いただいた**実行委員会名**としてください。

※助成事業完了報告書の様式、作成方法等につきましては、あらためてご案内いたします。

2) 助成金額の確定方法

金額の確定方法 助成金限度額、補助率、助成金申請額（確定額）については、以下をご参照ください。

例題 **カテゴリー3 の申請額 400,000 円の実施団体について**

助成対象経費の合計が 500,000 円

自己負担金が発生する場合

520,000 円（助成対象経費）× 80%（補助率）＝ 416,000 円

助成金確定額 400,000 円

416,000 円 - 400,000 円（助成金振込額）＝ 16,000 円

助成金限度額超過分 16,000 円は全額自己負担となります。

助成対象経費の合計が 450,000 円

450,000 円（助成対象経費）× 80%（補助率）＝ 360,000 円（助成金確定額）

400,000 円（助成金振込額）－ 360,000 円（助成金確定額）

40,000 円（差異）

返還金が発生する場合

SSF への返還金 40,000 円

助成金申請額（助成金振込額）が助成金限度額を下回る場合

カテゴリー3 助成金申請額 340,000 円（助成金振込額）

確定時：助成金対象経費 500,000 円

助成金確定額は 400,000 円ではなく、

申請金額 340,000 円となります。ご注意ください。

カテゴリー	助成金限度額	補助率
1	200,000 円	80%
2	280,000 円	
3	400,000 円	
4	460,000 円	
5	620,000 円	
6	900,000 円	

10. チャレンジデーQ&A

参加者・参加率について

Q. チャレンジデー当日、実施自治体の住民なら誰でも参加できますか？

規定時間内にチャレンジデーを実施する当該自治体区域内にいる全ての人が参加可能。
そのため、住民のみならず、通勤・通学している人たちや観光客なども参加できます。

Q. 参加率が100%超えの自治体があるのはなぜですか？

当該自治体区域内にいる全ての人が参加可能なため、自治体によっては企業や事業所等に参加を呼びかけ、組織参加を促すことで、参加率の向上を図っています。

$$\text{参加率(\%)} = \frac{\text{総参加者数(人)}}{\text{実施自治体の総人口(人)}} \times 100$$

参加率は上記の計算式で算出されるため、総人口以上の参加者数が得られると100%を超えることがあります。

Q. どのようにすれば参加率がアップしやすいですか？

- ・ 学校や企業等に参加協力を依頼する。
- ・ 様々な分野の方に実行委員会に参画していただく。
- ・ 参加率の集計を1時間ごとにし、結果を自治体ホームページやフェイスブックなどで公開するなど、広く見てもらう機会をつくり参加意欲を高めていただく。

チャレンジデー対象種目について

Q. 学校の体育の授業や部活動は対象になりますか？

- A. 通常の体育の授業や部活動は対象となりません。
但し、児童や生徒が
“チャレンジデーに参加していると意識し行う運動・スポーツをする場合”
は対象となります。
(例) ・ ロープ・ジャンプ・X (クラス対抗 ・ 記録会にするなど)
・ ご当地踊りなど (チャレンジデー用に企画した各種プログラムの実施など)

Q. 農作業や清掃活動は対象となりますか？

- A. 農作業や清掃活動は対象となりません。但し、それらの活動にスポーツ的な要素を加えた場合は対象となります。
(例) 清掃活動 + ウォーキング → クリーンウォーキング



ダブルカウントの禁止について

Q. 『ダブルカウントの禁止』とはどういうことですか？

A. 参加者によっては、いくつものプログラムやイベントに参加される方もいると思いますが、公正な参加率を算出するため、参加報告は「1人1回(票)」としてください。

Q. ダブルカウントを防ぐためにはどのような方法がありますか？

A. 集計センターで参加の報告を受ける際に「今回、何回目の報告か？」と確認したり、チラシやポスター、ホームページ等でダブルカウントの禁止や「1人1回(票)」と記載することで防ぐことも可能です。

対戦自治体との交流について

Q. エール交換は、どのような方法で行うのですか？

A. 電話やインターネット電話サービスの利用、実行委員会の代表(首長)同士が直接会って行うなど方法はさまざまです。対戦相手ともよく相談、調整のうえ実施ください。

Q. 自治体旗掲揚について、何か特別なルールがありますか？

A. 自治体旗掲揚について、特別なルールはありません。
敗れた自治体はチャレンジデーの翌日から対戦自治体旗を庁舎に1週間掲揚し敬意を表します。
最近は勝敗に関係なくお互いの旗を掲揚することが一般的になっています。

助成金について

Q. 助成金について、提出するのは領収書のみでいいですか？

A. 領収金額の内訳が領収書に明記されていない場合は、領収書と併せて内訳が明記されている、「納品書・請求書」が必要となります。

詳しくは、「助成金対象経費一覧」をご参照下さい。

http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/2016/pdf/cday2016_1-4.pdf

対戦自治体について

Q. 対戦自治体は、どうやって決定しますか？

A. 実施申し込み終了後、カテゴリー※ 別に分け、できる限り遠方で過去2年対戦のない自治体同士になるよう、SSF による厳正な抽選をもとに確定します。 ※ P3参照

Q. 対戦自治体について希望が出せるのか？

A. 実施にあたり、当初から姉妹都市対戦等を希望し申し込まれている場合、カテゴリーが異なっても対戦することは可能です。
また、事前に双方の代表者の合意により対戦を希望される場合も同様に可能です。
但し、実施自治体が決まった後からの希望は受け付けておりません。

ベストPR賞について（全自治体対象）

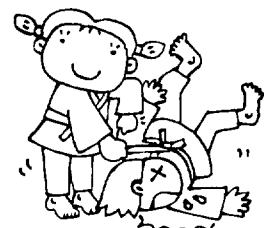
- Q. 市町村の「広報」でのチャレンジデー周知の記事は、ベストPR賞の対象となりますか？
- A. 対象になりません。
市町村の「広報」は「ベストPR賞」としては対象外です。
ベストPR賞は、報道機関に取り上げられたものに限りです。
- Q. テレビのニュースで取り上げられたのですが、ベストPR賞の対象とする場合、映像の提出は必要ですか？
- A. 必要です。
テレビのニュースに限らず、ラジオのニュースなどデータをDVD等に入力しご提出ください。
- Q. 新聞にチャレンジデーについて広告を出しましたが、これはベストPR賞の対象になりますか？
- A. 対象になりません。
広告は対象外です。

広報アイデア賞について（任意報告）

- Q. 広報アイデア賞とはどういった賞ですか？
- A. 独自のユニークな広報活動でチャレンジデーを広く周知し、参加率の向上に繋げた自治体に贈る賞です。
- Q. テレビ、ラジオ等のCMは広報アイデア賞の対象になりますか？
- A. 対象になります。

チャレンジデーレポートについて

- Q. チャレンジデーレポートの写真について、どんな写真を提出すれば良いですか？
- A. チャレンジデーの「のぼり旗」や「横断幕」など、チャレンジデーを開催していることがわかる写真が望ましいです。
また、プログラムに参加者の方々が行っている写真をご提出していただくと、プログラムの内容がわかり参考になります。



まちづくりセミナーについて

Q. 8月末～9月に予定されているセミナー・メダル認定証授与式とはどういったものですか？

A. チャレンジデー実施自治体の担当者だけでなく、他のスポーツ関係者も対象として、以下の2部構成で開催しています。

第1部 セミナー

スポーツ振興に関する内容での講演やパネルディスカッションなど

第2部 情報交換会

各アワードとメダル認定証の授与

メダル認定証については以下の表をご参照下さい。

メダル認定証授与基準表

カテゴリー	金メダル	銀メダル	銅メダル
1	65%以上	40%以上 65%未満	40%未満
2	61%以上	35%以上 61%未満	35%未満
3	55%以上	31%以上 55%未満	31%未満
4	50%以上	29%以上 50%未満	29%未満
5	50%以上	25%以上 50%未満	25%未満
6	40%以上	20%以上 40%未満	20%未満



メダル認証(金)

